

令和 8 年-【P1】

令和 8 年度 市民活動応援助成金「エール」
交付申請書

2026 年 1 月 ○○日

府中市市民活動センター館長

団体名 府中いいところ探検隊
代表者役職・氏名 多磨 玲子
所在地 〒183-00XX
東京都府中市 XX 町 1-100
電話 000 (0000) 0000

申請コース	☒ A. 事業スタートアップ助成 ☐ B. 事業ステップアップ助成 ※助成金受給実績（同事業で過去に助成金を受給した実績） ☒ 無 ☐ 有 → () 年 助成金名称 ()				
申請事業名	ふちゅうにむちゅうな CM づくり				
実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 8 年 12 月 31 日				
総事業費	1 0 2, 0 0 0 円				
対象経費	1 0 2, 0 0 0 円				
助成金申請額	9 0, 0 0 0 円				
団体設立	令和 7 年 12 月				
連絡担当者	ふりがな 氏 名	たま れいこ 多磨 玲子			
	住 所	〒183-00XX 東京都府中市 XX 町 1-100			
	連絡先	TEL	000-000-0000	携帯	000-0000-0000
		FAX	なし		
	mail	※携帯メール不可 ○○○@gmail.com			

令和 8 年度市民活動応援助成金「エール」の交付について、次のとおり関係書類を添えて申請します。

ポイント「申請書類」

団体を知らない第三者が読んでも、
わかるように書くことが重要です。

事業計画書

申請団体名：府中

ポイント「事業の目的」

府中市の公益につながる事業が助成の
対象です。それがわかるように書いて
ください。

申請事業名	※府中市のため、広く府中市民のためになる ふちゅうにむちゅうな CM づくり
事業の目的	【課題・問題意識】なぜこの事業を実施しようと思いましたか？ (社会状況や市民ニーズを踏まえて数値等を用いて具体的に記入してください。) 総務省の令和 6 年通信利用動向調査ではスマートフォンの個人の保有率は 8 割を超え、多くの人がスマートフォンで写真や動画を気軽に撮って楽しんでいる。スマートフォンはバーチャルな世界の入口にもなり、インターネットを通じた繋がりは広がりをもせる一方、リアルな地域の繋がりは薄れ、自分が住む街への関心が低い社会になっている。私達は、多くの人が持つスマートフォンを活用することにより、インターネットの世界だけではなく、自分が住むリアルな街の良さに気づき、街に関心を持つ人を増やすことができるのではないかと考え、事業を実施する。 申請事業は、地域限定で行った経験を横展開するためのノウハウを蓄積するとともに広く活動の周知を行い、府中全域に広げる第一歩として実施する。 【目指す姿（ビジョン）】課題を解決すると、どのような社会になりますか？ (この事業を行うと、府中がどのようなまちになっていくかを記入してください。) 市民それぞれが感じる府中の良さ・おもしろさを気軽に映像や写真で共有し合うことで、街の魅力を再発見し、より反響が大きい題材を探すことで地域に関心の目を向ける人が増える。やがて地域に愛着を感じるようになり、街のことを自分事としてとらえ、市民がよりよい街づくりの担い手になる。
事業の対象者	誰に対してこの事業を行いますか？対象者は何人位いますか？ ・府中在住・在学・在勤者でスマホやタブレットで写真や動画を楽しんでいる人 ・府中在住・在学・在勤者で府中に関心がある人々
目的を達成するために、実施する事業内容	どのような事業を行いますか？ ※日時、実施場所、実施方法、参加予定人数、募集方法等について具体的に記入 ① CM 制作ワークショップ(全 3 回)の開催。 ※質の高い作品を発信することで、より多くの人の目にとまるようにする。 日時：7 月末から 8 月、プラッツ会議室等 CM 制作ワークショップを 3 回開催予定 対象：・地域動画づくりに興味がある人 24 名(予定) (内訳は大人 8 名、小学生以上の子ども(小学 3 年生以下は保護者同伴) 16 名を想定。3 名 1 グループを作り、ワークショップ担当スタッフが各グループに 1 人つく) ・条件：パソコン、タブレット、スマートフォンを持参・操作できる人 広報方法：チラシ 小中学校 PTA のメール配信 SNS 広報ふちゅうほか 内容：CM 制作に携わる人やカメラマンを講師に迎え、30 秒の動画を作成し、完成したものを互いに鑑賞する。 ② 完成作品と撮影した写真のホームページへの公開。 ③ 作品に対する市民の反応を参加者へフィードバック。

連携・協働 する団体先等	誰と実施しますか？※連携団体・企業・行政等が確定している場合に記入 【団体名：関係性/協力内容】 【府中市小中学校 PTA 連合会、広報】 【XX 小学校・XX 中学校 PTA、広報・ワークショップ担当】 【青少年対策 XX 地区委員会、広報・ワークショップ担当】 【XX 地区子ども会、広報・ワークショップ担当】 誰と実施しようとしていますか？※希望・調整中の連携先がある場合に記入 【団体名：関係性/協力内容】 【わがまち支えあい協議会：今後の展開を考え協力を希望。協力メンバーに協議会の委員がいるので、協議会に紹介してもらう予定】
工夫・改善点 B コースのみ記 入	前回の採択事業を踏まえて、どこを工夫・改善しましたか？ ※複数回申請・交付を受けている事業は、前回申請した事業と比較して記入
事業を行う ことで期待 できる具体的 な成果	事業を実施すると、どのような成果を期待できますか？ ※実施することで、対象者や市、市民にどのような効果や成果があるかを具体的に記入 ① 映像作品制作を通して、街の魅力を再発見し、自分が住む街への関心が高まる。 ② 映像作品制作を通して、多世代交流ができる。 ③ 写真や動画を撮る、いいと思う写真や動画に投票するという自分の好きなこと、 気軽にできることが、府中のよりよい街づくりの役に立つことを知る。 ④ 団体の活動に興味を持ち、何等かの関わりを持つ人が増える。
事業実施後の 計画	この事業の経験をその後の活動にどのように活かしますか？ ※助成期間終了後、どのように活動を展開していく予定かを記入 ・ワークショップ実施ノウハウをパッケージ化し、横展開できるようにする。 ・事業の成果物をフォトコンテストへ出品し、フォトコンテスト事業を広め、多くの 市民に知ってもらう。 ・協賛金や募金などの応援者を増やしていく。 ・各地域でこの事業への参加者や携わる人を増やし、写真や動画などのコンテンツを 充実させる。 ・コンテンツを元に街への興味、関心を高める勉強会や街あるきのイベント等を展開 する。 上記を進めることにより府中市・市民にどのような効果が期待できますか？ ・街に関心を持ち、よりよい街にしていこうという気持ちを持つ市民が増える。 ・府中市が市民による街づくりが活発に行われる市になる。

ポイント「事業実施後の計画」

申請事業だけでは目指す社会にすぐに結びつかない場合があります。団体の今後の計画を記入することで補足説明をすることができます。府中市の助成金なので、府中市民の公益となる事業であることが重要です。

実施体制	この事業に関わる人は誰ですか？ ※団体の事務局メンバー、運営体制、外部のボランティアスタッフ等 【氏名もしくは団体名と、申請事業における各役割や役職】 ・多磨玲子（リーダー、広報・進捗管理担当） ・宮町真子（副リーダー、会計・事務担当） ・四谷奈々（WEBデザイナー、SNS 広報・ホームページ掲載担当） ・八幡緑（記録担当） ・北山昭（動画編集、ワークショップ担当） ・新町進（XX 町写真館経営 カメラマン、ワークショップ担当） ・晴見三郎（CM ディレクター、ワークショップ担当） ・XX 小学校 PTA（広報・ワークショップ担当） ・XX 中学校 PTA（広報・ワークショップ担当） ・青少年対策 XX 地区委員会（広報・ワークショップ担当） ・XX 地区子ども会（広報・ワークショップ担当）	
実施スケジュール	日程	工程
	令和8年 1月～3月 4月 5月 6月 7月 7・8月 9月 10月11月 12月	※準備の工程から事業の終了までを記入してください。 準備（ワークショップ内容検討） 会場予約 打ち合わせ（ワークショップ内容・広報について） 打ち合わせ（チラシ確認・広報について） 打ち合わせ（ワークショップ広報開始） 各文化センターまつりで広報 ワークショップ開催（3回予定） プラッツ会議室等 ワークショップ前後に打ち合わせ 完成作品のホームページへの公開 （団体主催フォトコンテストへ出品） 打ち合わせ（フィードバックについて） ワークショップ参加者へ結果のフィードバックの連絡

ポイント「実施体制」

申請事業を実施可能な体制になっている必要があります。専門知識・技術が必要な内容の場合、それを持つ人がいるとわかるように書くと説得力があります。

ポイント「実施スケジュール」

準備を含め無理のない実現可能な計画になっていることが重要です。

事業収支予算書

申請団体名	府中いいところ探検隊
申請事業名	ふちゅうにむちゅうな CM づくり

1 収入の部

科 目	金 額	経費の内容・算出根拠 ※金額が入っているところは必ず記入
事業収入 ※この事業を行う ことで得られる収入	12,000 円	ワークショップ参加費 24 人×500 円
	円	
	円	
その他収入 ※寄付金など	円	
	円	
団体負担金	円	
助成金申請額	90,000 円	第 1 号様式 1 頁の「助成金申請額」と同額
収入合計【A】	102,000 円	支出合計【B】 + 【C】と同額となるよう記入

ポイント

対象経費 102,000 円の 9 割は、91,800 円（最大助成金申請額）。今回は、収入 12,000 円が見込まれているため、支出合計から収入 12,000 円との差額の 90,000 円が助成金申請額となります。

2 支出の部 ※行は追加して構いません。

科目		金額	経費の内容・算出根拠 ※金額が入っているところは必ず記入
対象経費	謝礼金	60,000 円	講師 10,000 円×3 コマ (CM 制作ディレクター) 講師 5,000 円×3 コマ×2 名 (動画編集・カメラマン)
	旅費交通費	12,000 円	500 円×ワークショップ 3 回×スタッフ 8 名分
	消耗品費	2,000 円	用紙、筆記用具等
	印刷製本費	4,000 円	ワークショップチラシ 1000 枚、A4、両面、カラー
	通信運搬費	円	
	保険料	3,500 円	(参加者(24 人)+スタッフ等 (10 人)) ×3 回分
	使用料・賃借料	12,000 円	映像ワークショップ会議室 1 日 4,000 円×3 日 (午後区分)
	設営費	円	
	資料費	3,500 円	配布資料 (参加者 24 名+スタッフ・講師 11 名)
	委託費	5,000 円	チラシ作成
	人件費	円	
対象経費合計【B】		102,000 円	※この事業に必要な支出のなかで助成の対象になる支出の合計
対象外経費		円	
		円	
		円	
対象外経費合計【C】		円	※この事業に必要な支出のなかで助成の対象にならない支出の合計 (ある場合のみ記入)
支出合計 【B】 + 【C】		102,000 円	収入合計【A】と同額となるよう記入

団体概要書

申請団体名	府中いいところ探検隊
設立年月	2025 年 12 月
設立目的	小学校の卒業記念に子どもたちとともに地域の様々なところを撮り、動画制作を行ったところ、地域の魅力を再発見する機会になったと保護者から好評を得た。いつも家でタブレットやスマートフォンの画面ばかりみている子どもたちが積極的に被写体を探しに街へ出る機会になったとともに、制作の過程で大人と子どもの交流もうまれ、地元のよさを知る機会となった。 自分達ができること、好きなことが、他人に喜ばれることがわかり、この経験を地域住民と共有し、市内他地域へ広げたいと考えようになった。動画制作の経験を通して、市民が地域の魅力を再発見し、地元に対する興味が湧き、自分たちが住む街のことを自分事としてとらえ、よりよい街づくりの担い手になる。他地域へ広げるにあたり、子どもの卒業記念動画制作に携わった保護者が会を立ち上げた。
事業（活動）内容	・動画制作ワークショップの開催 ・フォトコンテスト（写真部門・動画部門）の開催 （動画制作の過程で撮った写真の有効活用を兼ねる） ・「ふちゅうにむちゅう」サイト、SNS の運営 ・作成した動画や写真の広報活動
主な活動実績	団体を立ち上げる前に会員同士で実施していたこと ① 小学校卒業記念動画の制作・謝恩会にて発表（10 分動画・約 150 名鑑賞） ② 小学校の卒業記念に作成した動画の地域での鑑賞会（2025.6） 学区内 3 町会、青少対委員会総会で実施（対象約 60 名）。好評を得る。 ③ XX 小学校親子対象 夏休み動画制作ワークショップ全 3 回開催（2025.8） 大人 8 名、子ども 20 名参加 ④ ①③を「ふちゅうにむちゅう」サイトに公開 <u>url:xxxxxxxxxxxxx.xxxxxxxxxx.@xxxxx.xxx</u> ⑤ ホームページでフォトコンテスト実施（2025.10～11）③の制作作品 8 点も参加。写真 40 点（広報は XX 地域のみ）

活動分野 （該当に複数 ■印）	☐ (1)保健・医療・福祉 ■ (2)社会教育 ■ (3)まちづくり ■ (4)観光振興 ☐ (5)農山漁村・中山間地域の振興 ■ (6)学術・文化・芸術・スポーツ ☐ (7)環境保全 ☐ (8)災害救援 ☐ (9)地域安全 ☐ (10)人権擁護・平和 ☐ (11)国際協力 ☐ (12)男女共同参画社会の形成 ■ (13)子どもの健全育成 ☐ (14)情報化社会の発展 ☐ (15)科学技術振興 ☐ (16)経済活動活性化 ☐ (17)職業能力開発・雇用機会拡充 ☐ (18)消費者保護 ☐ (19)前各号の活動への助言・援助 上記のうち、主たる活動分野（1つ） <u>（3）番</u>
団体の 活動拠点	XX 小学校・XX 町会会館（府中市）
過去の助成金 獲得実績	（国、都道府県、市区町村（府中市を含む）、または出資法人、民間からの助成） 実施年度：事業名 なし

ポイント

団体の特徴・個性・実績等、この団体だからこそ申請事業が効果的にできることを示す内容を記入します。この例では、設立したばかりの団体ですが、メンバーの経験を記入することで事業の実効性が高いことをアピールしています。

団体構成員名簿

申請団体名：府中いいところ探検隊

【記入上の注意】

1. 団体構成員とは、役員、事務局スタッフ、事業の運営・指導にあたるスタッフ、運営・指導者のもとで実際に事業に携わるスタッフ等と定義します。
2. 「役職名」には、団体の役職名を記入してください。（例：会長、代表、理事長、実行委員長、委員、会員、監査、事務局長、事業責任者・マネージャー、事業運営担当、会計、広報等）
3. 行が足りない場合は適宜追加してください。

	氏名	役職名	府中市との関わり（該当を■印）
1	多磨 玲子	代表	■市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
2	北山 昭	副代表	■市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
3	宮野 真子	会計	■市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
4	四谷 奈々		■市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
5	八幡 緑		■市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
6			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
7			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
8			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
9			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
10			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
11			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
12			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
13			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
14			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
15			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他
16			☐ 市民 ☐ 在勤 ☐ 在学 ☐ その他